

① 題：「待つ時、待つ民」(27 分)

181201

説教者 : 伊藤裕史

聖書朗読 : ハバクク書 2 : 1~4

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『国と指導者』32 章

「われわれは預言者たちや使徒たちが試した信仰を抱いて、それを強めるようにしなければならない。それは神の約束をしっかりと把握して、神がお定めになった時と方法によって救いをお与えになるのを待つ信仰である。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 33 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 425 番

② 題：「待ち望む人たち」(32 分)

181223

説教者 : 伊藤 滋

聖書朗読 : ルカによる福音書 2 : 25,26

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『キリストの実物教訓』29 章

「花婿が来たのは、真夜中であつた。――最も暗い時であつた。そのように、キリストがおいでになるのも、この地上歴史の最も暗黒の時である。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 112 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 425 番

③ 題：「葦の海」(31 分)

191005

説教者 : 尾上史郎

聖書朗読 : 出エジプト記 13 : 17,18

瞑想の言葉 : 矢内原忠雄『キリスト教入門』43,44 頁

「どの宗教を自分の宗教として選ぶかという問題は、実は、自分がどの宗教に選ばれるかという問題である。……ただ自分がキリスト教の前につれて来られて、その真理を示され、キリストに対する愛を呼び起こされて、それで信じたのである。信仰的に言えば、神の恩恵によるのである。……これは神の恩恵なしには、ありえなかったことである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 112 番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 314 番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。